

平成21年度

岡山大学文学部公開講座

－国家・社会と文学(者)－

日時 6月21日(日)～7月26日(日) 13:30～16:00

場所 文化科学系総合研究棟 共同研究室(2階)

募集人数 100名(先着順)

受講料 無料

9.11以降世界は変わったといわれます。また、それ以前から経済を中心に進んできたグローバル化のために、国民国家、民族主義、国境などは無意味になりつつあります。環境問題も深刻になり、金融危機などで世界が混乱のさなかにある今、国家や社会はどうあろうか/あるべきなのでしょう。そして文学(者)はどのようにそれに関わることができるのでしょうか。歴史から何かを学べるかもしれません。本講座ではヨーロッパ地域を包括的に扱ったり、歴史あるいは文学に重点を置いたり、個別の国の特定の時代を考察したりします。さまざまなアプロークを通して、未来の日本という国のかたちを考える参考になればと思います。

①	6月21日	今、アメリカが恨めしい ー今だけ？	教授	中谷ひとみ
②	6月28日	『新古今集』に見る国家と文学	教授	田仲 洋己
③	7月 5日	唐代の社会と詩人	准教授	橘 英 範
④	7月12日	文学史・中国文学史・中国の 文学史	准教授	遊 佐 徹
⑤	7月19日	ゲーテとアメリカ、ゲーテと ヨーロッパ	准教授	大 杉 洋
⑥	7月26日	大江健三郎に見る文学者の 社会参加	准教授	萩原 直幸

問合せ先 岡山大学社会文化科学研究科等庶務係 TEL086-251-7345

主催 岡山大学